

リサイクルバンク事業の見直しについて

1 経過

- リサイクルバンク事業は、昭和 62 年から直営で開始したが、平成 21 年 4 月から運営管理を江別リサイクル事業協同組合に委託し、施設はプレハブリースとした。
- 開始当初は家具と家電を取り扱っていたが、平成 21 年度から発火の恐れのある家電の取り扱いは行っていない。
- 開始当初は、民間による家具等のリユース事業は限られていたことから、行政による当事業の取り組みは、リユースの啓発を進める上で妥当であった。
- 平成 22 年 10 月から開始した大型ごみ収集（有料）に伴い、リサイクルバンクでの家具等の回収（無料）は、市民の費用負担の観点から不公平感がある。
- プレハブ展示施設は、工栄町にあることから、特定の市民に利用が限られるほか、設置から 11 年が経過し、今後は修繕費が必要となる。
- 現在、市内にリユースショップが複数あるほか、インターネット等を利用したリユース事業も普及しており、当事業の在り方について見直す時期にある。

2 見直しの内容

- リサイクルバンク事業を廃止し、行政でしか行えないリユースの手法として、新たに大型ごみ排出者の了解を得て、スキーや学習机等をピックアップ・保管し、市民に無料で提供（年 2 回）する。
- リサイクルバンク事業は、周知期間を踏まえ、令和 2 年 9 月末で廃止とする。

3 見直しスケジュール案

令和 2 年 4 月～7 月 市民周知（広報えべつ、ホームページ掲載）

9 月末 リサイクルバンク廃止、大型ごみからピックアップ開始

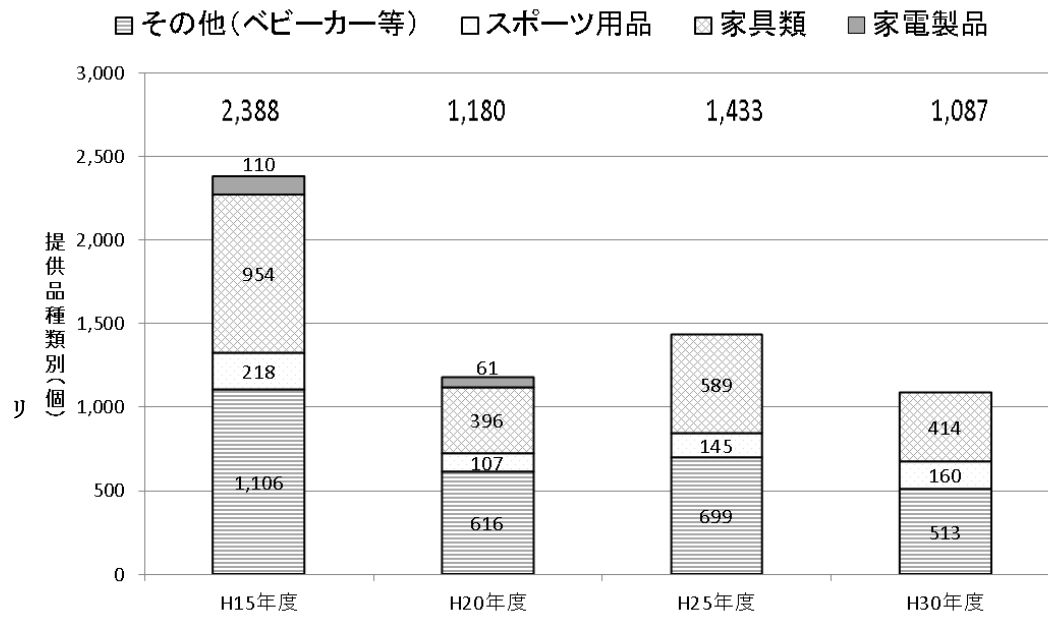
令和 3 年 2 月頃 リユース市開催（抽選方式）

4 リサイクルバンク利用状況（過去 5 年間）

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
来場者（人）	6,855	6,432	6,063	5,324	4,692
利用者（人）	1,265	937	1,043	987	1,046
利用品（点）	1,357	1,331	1,237	1,206	1,099

《 参 考 》

(1) 提供品種類別推移 (H15年度～H30年度)



(2) 見直し後のリユース手法 (案)

対象品目：スキー、スノーボード、学習机等 (子育て世代の利用が見込まれる物)

